

月下美人の開花時間の調節は？

「月下美人」とはまことに優雅な名前である。その由来については有名なエピソードがある。ただ、今の世の中だと、「月」より「太陽」が好まれるかもしれない。

月下美人は、その名のとおり、夜の九時か十時に見事に開花する。ところがNHKの「趣味の園芸」を見ていたら、太陽のある昼間に咲いている写真が投稿された。この現象はひとの家の出来ごとだと思っていたところ、なんと十月早々、わが家の月下美人も朝から咲き始め、八時五十分ぐらいに全開になった（写真参照）。

この植物においても、開花時間の調整は、体内にある生物時計に従っていると考えていた。しかし肝心の時計が狂ってしまったのだろうか。時計を合わせる環境の刺激は、気温より明るさと信じていたが、この月下美人の光センサーは故障したのだろうか。たしか、この株、これまではまともな時間に咲いていたはず。あれこれ考えていくうちに、時計がちょうど十二時間ずれていることが気になった。まさに「時差ボケ」である。時差ボケを生かせば、太陽の下に咲く「月下美人」が作出できるかもしれない。

ただ、写真を撮るため日光に当てたせいか、開花のピークはほんのつかの間で、九時十分にはすっかりしおれてしまった。やはり夜の美人に太陽の光は毒だろうか。

